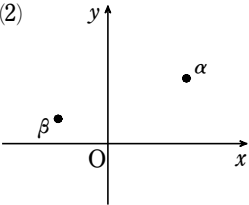


1 点 A $(2+i)$, B $(-1-2i)$, C (3) , D $(-2i)$ を複素数平面上に図示せよ。

2 (1) $\alpha=a+2i$, $\beta=-2-4i$, $\gamma=3+bi$ とする。4 点 0 , α , (2) β , γ が一直線上にあるとき, 実数 a , b の値を求めよ。
(2) 右図の複素数平面上の点 α , β について, 次の点を図に示せ。
(ア) $\alpha+\beta$ (イ) $\alpha-\beta$
(ウ) $\alpha+2\beta$ (エ) $-(\alpha+2\beta)$



3 (1) $\alpha\overline{\beta}$ が実数でないとき, 次の複素数は実数, 純虚数のどちらであるか。
(ア) $\alpha\overline{\beta}+\overline{\alpha}\beta$ (イ) $\alpha\overline{\beta}-\overline{\alpha}\beta$
(2) a , b , c ($a\neq 0$) は実数とする。5 次方程式 $ax^5+bx^2+c=0$ が虚数解 α をもつとき, $\overline{\alpha}$ もこの方程式の解であることを示せ。

4 (1) $z=1+i$ のとき, $\left|z+\frac{1}{z}\right|$ の値を求めよ。
(2) 2 点 A $(-1+5i)$, B $(3+2i)$ 間の距離は ア である。また, この 2 点から等距離にある虚軸上の点 C を表す複素数は イ である。

5 z , α , β を複素数とする。
(1) $|z-3|=|z+3i|$ のとき, 等式 $z+i\overline{z}=0$ が成り立つことを示せ。
(2) $|\alpha|=|\beta|=|\alpha-\beta|=2$ のとき, $|\alpha+\beta|$ の値を求めよ。

6 z , α , β を複素数とする。
(1) $|z-2i|=|1+2iz|$ のとき, $|z|=1$ であることを示せ。
(2) $|\alpha|=|\beta|=|\alpha+\beta|=2$ のとき, $\alpha^2+\alpha\beta+\beta^2$ の値を求めよ。

7 絶対値が1で、 $\frac{z+1}{z^2}$ が実数であるような複素数 z を求めよ。

8 $z=a+bi$ (a, b は実数) とするとき、次の式を z と \overline{z} を用いて表せ。

- (1) a
- (2) b
- (3) $a-b$
- (4) a^2-b^2

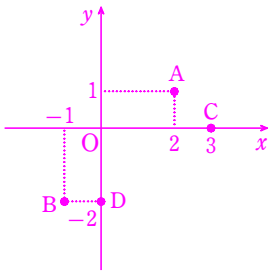
9 $\left(\alpha+\frac{1}{\alpha}\right)\left(\overline{\alpha}+\frac{1}{\alpha}\right)=4$ であるとき、複素数 α の絶対値 $|\alpha|$ を求めよ。

10 α, z は複素数で、 $|\alpha|>1$ であるとする。このとき、 $|z-\alpha|$ と $|\overline{\alpha}z-1|$ の大小を比較せよ。

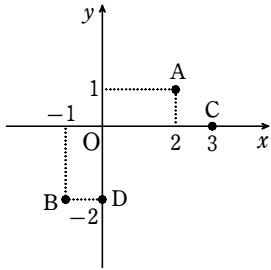
11 α を複素数とする。等式 $\alpha(|z|^2+2)+i(2|\alpha|^2+1)\overline{z}=0$ を満たす複素数 z をすべて求めよ。

1 点 A (2 + i), B (−1 − 2i), C (3), D (−2i) を複素数平面上に図示せよ。

解答 [図]



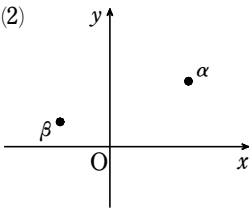
解説



2 (1) $\alpha = a + 2i$, $\beta = -2 - 4i$, $\gamma = 3 + bi$ とする。4 点 0, α , (2) β , γ が一直線上にあるとき、実数 a , b の値を求めよ。

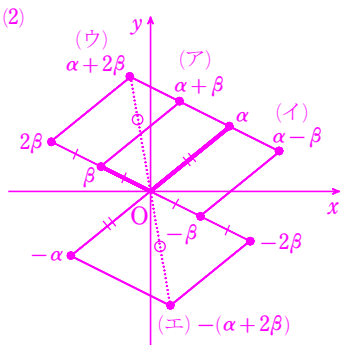
(2) 右図の複素数平面上の点 α , β について、次の点を図に示せ。

- (ア) $\alpha + \beta$ (イ) $\alpha - \beta$
(ウ) $\alpha + 2\beta$ (エ) $-(\alpha + 2\beta)$



解答 (1) $a = 1$, $b = 6$

(2) (ア) [図] (イ) [図]
(ウ) [図] (エ) [図]



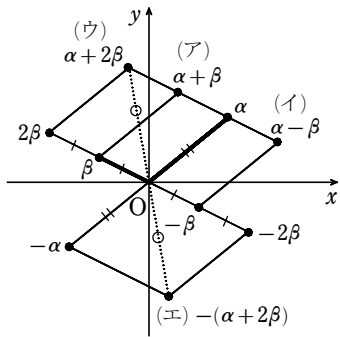
解説

(1) $\alpha \neq 0$ であるから、条件より $\beta = k\alpha \dots\dots ①$, $\gamma = l\alpha \dots\dots ②$ となる実数 k , l がある。

① から $-2 - 4i = ka + 2ki$ よって $-2 = ka$, $-4 = 2k$
これを解いて $k = -2$, $a = 1$

② から $3 + bi = l + 2li$ ゆえに $3 = l$, $b = 2l$
これを解いて $l = 3$, $b = 6$

(2) 右の図で、線分で囲まれた四角形はすべて平行四辺形である。このとき、(ア)～(エ)の各点は、図のようになる。



3 (1) $\alpha\bar{\beta}$ が実数でないとき、次の複素数は実数、純虚数のどちらであるか。

- (ア) $\alpha\bar{\beta} + \overline{\alpha\beta}$ (イ) $\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta}$

(2) a , b , c ($a \neq 0$) は実数とする。5 次方程式 $ax^5 + bx^2 + c = 0$ が虚数解 α をもつとき、 $\bar{\alpha}$ もこの方程式の解であることを示せ。

解答 (1) (ア) 実数 (イ) 純虚数 (2) 略

解説

(1) (ア) $z = \alpha\bar{\beta} + \overline{\alpha\beta}$ とすると

$$\bar{z} = \overline{\alpha\bar{\beta} + \overline{\alpha\beta}} = \overline{\alpha\bar{\beta}} + \overline{\overline{\alpha\beta}} = \overline{\alpha}\bar{\beta} + \alpha\bar{\beta} = \alpha\bar{\beta} + \alpha\bar{\beta} = z$$

したがって、 z は実数である。

(イ) $z = \alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta}$ とすると

$$\bar{z} = \overline{\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta}} = \overline{\alpha\bar{\beta}} - \overline{\overline{\alpha\beta}} = \overline{\alpha}\bar{\beta} - \alpha\bar{\beta} = -(\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta}) = -z$$

また、 $\alpha\bar{\beta}$ は実数でないから $\overline{\alpha\bar{\beta}} \neq \alpha\bar{\beta}$ すなわち $\overline{\alpha\beta} \neq \alpha\bar{\beta}$

よって $\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta} \neq 0$ すなわち $z \neq 0$

したがって、 z は純虚数である。

別解 $\alpha = a + bi$, $\beta = c + di$ (a , b , c , d は実数) とすると

$$\alpha\bar{\beta} = (a + bi)(c - di) = ac + bd + (-ad + bc)i \dots\dots ①$$

$$\overline{\alpha\beta} = (a - bi)(c + di) = ac + bd + (ad - bc)i \dots\dots ②$$

(ア) ① + ② から $\alpha\bar{\beta} + \overline{\alpha\beta} = 2(ac + bd)$ よって、 $\alpha\bar{\beta} + \overline{\alpha\beta}$ は実数である。

(イ) ① - ② から $\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta} = 2(bc - ad)i$

$\alpha\bar{\beta}$ は実数ではないから、① より $bc - ad \neq 0$

よって、 $\alpha\bar{\beta} - \overline{\alpha\beta}$ は純虚数である。

(2) 5 次方程式 $ax^5 + bx^2 + c = 0$ が $x = \alpha$ を解にもつから $a\alpha^5 + b\alpha^2 + c = 0$

$$\text{ゆえに } \overline{a\alpha^5 + b\alpha^2 + c} = \overline{0} \text{ すなわち } \overline{a\alpha^5} + \overline{b\alpha^2} + \overline{c} = 0$$

ここで、 $\overline{a\alpha^5} = \overline{a} \overline{\alpha^5} = a(\bar{\alpha})^5$, $\overline{b\alpha^2} = \overline{b} \overline{\alpha^2} = b(\bar{\alpha})^2$ であるから

$$a(\bar{\alpha})^5 + b(\bar{\alpha})^2 + c = 0$$

したがって、与えられた方程式は $x = \bar{\alpha}$ を解にもつ。

4 (1) $z = 1 + i$ のとき、 $\left|z + \frac{1}{z}\right|$ の値を求めよ。

(2) 2 点 A (−1 + 5i), B (3 + 2i) 間の距離は $\sqrt{\quad}$ である。また、この 2 点から等距離にある虚軸上の点 C を表す複素数は $i\sqrt{\quad}$ である。

解答 (1) $\frac{3}{\sqrt{2}}$ (2) (ア) 5 (イ) $\frac{13}{6}i$

解説

$$(1) \left|z + \frac{1}{z}\right|^2 = \left(z + \frac{1}{z}\right)\overline{\left(z + \frac{1}{z}\right)} = \left(z + \frac{1}{z}\right)\left(\bar{z} + \frac{1}{\bar{z}}\right) \\ = z\bar{z} + \frac{1}{z\bar{z}} + 2 = |z|^2 + \frac{1}{|z|^2} + 2$$

ここで、 $|z|^2 = |1 + i|^2 = 1^2 + 1^2 = 2$ であるから

$$\left|z + \frac{1}{z}\right|^2 = 2 + \frac{1}{2} + 2 = \frac{9}{2} \quad \text{よって} \quad \left|z + \frac{1}{z}\right| = \frac{3}{\sqrt{2}}$$

別解 $|z|^2 = 2$ であるから $z\bar{z} = 2$ よって $\frac{1}{z} = \frac{z}{2}$

$$\text{ゆえに} \quad \left|z + \frac{1}{z}\right| = \left|z + \frac{z}{2}\right| = \frac{3}{2}|z| = \frac{3\sqrt{2}}{2}$$

(2) $AB^2 = |(3 + 2i) - (-1 + 5i)|^2 = |4 - 3i|^2 = 4^2 + (-3)^2 = 25$

$AB > 0$ であるから $AB = \sqrt{25} = 5$

また、求める虚軸上の点を C (α) とすると、 $\alpha = bi$ (b は実数) とおける。

$AC = BC$ であるから $AC^2 = BC^2$

$$AC^2 = |1 + (b - 5)i|^2 = 1^2 + (b - 5)^2 = b^2 - 10b + 26$$

$$BC^2 = |-3 + (b - 2)i|^2 = (-3)^2 + (b - 2)^2 = b^2 - 4b + 13$$

$$\text{よって} \quad b^2 - 10b + 26 = b^2 - 4b + 13 \quad \text{これを解いて} \quad b = \frac{13}{6}$$

ゆえに、点 C を表す複素数は $i\sqrt{\frac{13}{6}}$

5 z , α , β を複素数とする。

(1) $|z - 3| = |z + 3i|$ のとき、等式 $z + i\bar{z} = 0$ が成り立つことを示せ。

(2) $|\alpha| = |\beta| = |\alpha - \beta| = 2$ のとき、 $|\alpha + \beta|$ の値を求めよ。

解答 (1) 略 (2) $2\sqrt{3}$

解説

(1) $|z - 3| = |z + 3i|$ から $|z - 3|^2 = |z + 3i|^2$

$$\text{ゆえに} \quad (z - 3)(\bar{z} - 3) = (z + 3i)(\bar{z} + 3i)$$

$$\text{よって} \quad (z - 3)(\bar{z} - 3) = (z + 3i)(\bar{z} - 3i)$$

$$\text{展開すると} \quad z\bar{z} - 3z - 3\bar{z} + 9 = z\bar{z} - 3iz + 3i\bar{z} + 9$$

$$\text{整理すると} \quad (1 - i)z = -(1 + i)\bar{z}$$

$$\text{ゆえに} \quad z = -\frac{1 + i}{1 - i}\bar{z} = -\frac{(1 + i)^2}{(1 - i)(1 + i)}\bar{z} = -\frac{1 + 2i + i^2}{1 - i^2}\bar{z} = -\frac{2i}{2}\bar{z} \\ = -i\bar{z}$$

したがって $z + i\bar{z} = 0$

$$(2) |\alpha - \beta|^2 = (\alpha - \beta)(\overline{\alpha - \beta}) = (\alpha - \beta)(\bar{\alpha} - \bar{\beta}) = \alpha\bar{\alpha} - \alpha\bar{\beta} - \bar{\alpha}\beta + \beta\bar{\beta} \\ = |\alpha|^2 - \alpha\bar{\beta} - \bar{\alpha}\beta + |\beta|^2$$

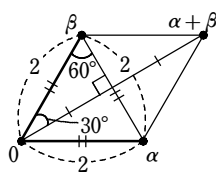
条件より、 $|\alpha|^2 = |\beta|^2 = |\alpha - \beta|^2 = 4$ であるから $4 = 4 - \alpha\bar{\beta} - \bar{\alpha}\beta + 4$

$$\text{ゆえに} \quad \alpha\bar{\beta} + \bar{\alpha}\beta = 4$$

$$\text{よって} \quad |\alpha + \beta|^2 = (\alpha + \beta)(\overline{\alpha + \beta}) = (\alpha + \beta)(\bar{\alpha} + \bar{\beta}) = \alpha\bar{\alpha} + \alpha\bar{\beta} + \bar{\alpha}\beta + \beta\bar{\beta} \\ = |\alpha|^2 + \alpha\bar{\beta} + \bar{\alpha}\beta + |\beta|^2 = 4 + 4 + 4 = 12$$

したがって $|\alpha + \beta| = 2\sqrt{3}$

別解 $|\alpha|=|\beta|=\alpha-\beta=2$ から、複素数平面上の 3 点 $0, \alpha, \beta$ は 1 辺の長さが 2 の正三角形をなす。
図から $|\alpha+\beta|=2\times\sqrt{3}=2\sqrt{3}$



6 z, α, β を複素数とする。

- (1) $|z-2i|=|1+2iz|$ のとき、 $|z|=1$ であることを示せ。
(2) $|\alpha|=|\beta|=\alpha+\beta=2$ のとき、 $\alpha^2+\alpha\beta+\beta^2$ の値を求めよ。

解答 (1) 略 (2) 0

解説

- (1) $|z-2i|=|1+2iz|$ から $|z-2i|^2=|1+2iz|^2$
ゆえに $(z-2i)(\overline{z-2i})=(1+2iz)(\overline{1+2iz})$
よって $(z-2i)(\overline{z}+2i)=(1+2iz)(1-2i\overline{z})$
展開すると $z\overline{z}+2iz-2i\overline{z}+4=1-2i\overline{z}+2iz+4z\overline{z}$
整理すると $3z\overline{z}-3=0$ よって $z\overline{z}=1$
したがって、 $|z|^2=1$ であるから $|z|=1$
(2) $|\alpha|=|\beta|=2$ から $|\alpha|^2=|\beta|^2=4$ ゆえに $\alpha\overline{\alpha}=\beta\overline{\beta}=4$
よって $\overline{\alpha}=\frac{4}{\alpha}, \overline{\beta}=\frac{4}{\beta}$ …… ①
また、 $|\alpha+\beta|=2$ から $|\alpha+\beta|^2=4$ ゆえに $(\alpha+\beta)(\overline{\alpha}+\overline{\beta})=4$
①を代入して $(\alpha+\beta)\left(\frac{4}{\alpha}+\frac{4}{\beta}\right)=4$ よって $(\alpha+\beta)\cdot\frac{4(\alpha+\beta)}{\alpha\beta}=4$
ゆえに $(\alpha+\beta)^2=\alpha\beta$ したがって $\alpha^2+\alpha\beta+\beta^2=0$

7 絶対値が 1 で、 $\frac{z+1}{z^2}$ が実数であるような複素数 z を求めよ。

解答 $z=\pm 1, \frac{-1\pm\sqrt{3}i}{2}$

解説

$\frac{z+1}{z^2}$ が実数であるための条件は $\overline{\left(\frac{z+1}{z^2}\right)}=\frac{z+1}{z^2}$

すなわち $\frac{\overline{z}+1}{(\overline{z})^2}=\frac{z+1}{z^2}$ …… [A]

両辺に $z^2(\overline{z})^2$ を掛けて $z^2(\overline{z}+1)=(\overline{z})^2(z+1)$

よって $z\cdot z\overline{z}+z^2=\overline{z}\cdot z\overline{z}+(\overline{z})^2$

$|z|=1$ より $z\overline{z}=1$ であるから $z+z^2=\overline{z}+(\overline{z})^2$

ゆえに $z-\overline{z}+z^2-(\overline{z})^2=0$

よって $(z-\overline{z})(1+z+\overline{z})=0$

ゆえに $z-\overline{z}=0$ または $1+z+\overline{z}=0$

[1] $z-\overline{z}=0$ のとき $\overline{z}=z$

よって、 z は実数であるから、 $|z|=1$ より $z=\pm 1$

[2] $1+z+\overline{z}=0$ のとき $z+\overline{z}=-1$

また、 $z\overline{z}=1$ であるから、 z, \overline{z} は 2 次方程式 $x^2+x+1=0$ の解である。

この方程式を解くと $x=\frac{-1\pm\sqrt{1^2-4\cdot 1}}{2\cdot 1}=\frac{-1\pm\sqrt{3}i}{2}$

[1], [2] から $z=\pm 1, \frac{-1\pm\sqrt{3}i}{2}$

別解 $z\overline{z}=1$ から $\frac{1}{z}=z$ よって $\frac{\overline{z}+1}{(\overline{z})^2}=\frac{1}{z}+\left(\frac{1}{z}\right)^2=z+z^2$

ゆえに、[A] は $z+z^2=\frac{z+1}{z^2}$ 両辺に z^2 を掛けて $z^2\cdot z(z+1)=z+1$

よって $(z+1)(z-1)(z^2+z+1)=0$

これを解いて $z=\pm 1, \frac{-1\pm\sqrt{3}i}{2}$

8 $z=a+bi$ (a, b は実数) とするとき、次の式を z と \overline{z} を用いて表せ。

- (1) a (2) b (3) $a-b$ (4) a^2-b^2

解答 (1) $\frac{1}{2}z+\frac{1}{2}\overline{z}$ (2) $-\frac{1}{2}iz+\frac{1}{2}i\overline{z}$ (3) $\frac{1}{2}(1+i)z+\frac{1}{2}(1-i)\overline{z}$
(4) $\frac{1}{2}z^2+\frac{1}{2}(\overline{z})^2$

解説

$z=a+bi$ のとき $\overline{z}=a-bi$

(1) $z+\overline{z}=2a$ であるから $a=\frac{1}{2}z+\frac{1}{2}\overline{z}$

(2) $z-\overline{z}=2bi$ であるから

$$b=\frac{z-\overline{z}}{2i}=-\frac{i(z-\overline{z})}{2}=-\frac{1}{2}iz+\frac{1}{2}i\overline{z}$$

(3) (1), (2) から

$$\begin{aligned} a-b &= \left(\frac{1}{2}z+\frac{1}{2}\overline{z}\right)-\left(-\frac{1}{2}iz+\frac{1}{2}i\overline{z}\right) \\ &= \frac{1}{2}(1+i)z+\frac{1}{2}(1-i)\overline{z} \end{aligned}$$

(4) $z^2=a^2+2abi-b^2$ …… ①

$(\overline{z})^2=a^2-2abi-b^2$ …… ②

①+② から $z^2+(\overline{z})^2=2(a^2-b^2)$

したがって $a^2-b^2=\frac{1}{2}z^2+\frac{1}{2}(\overline{z})^2$

9 $\left(\alpha+\frac{1}{\alpha}\right)\left(\overline{\alpha}+\frac{1}{\alpha}\right)=4$ であるとき、複素数 α の絶対値 $|\alpha|$ を求めよ。

解答 $|\alpha|=1$

解説

$\left(\alpha+\frac{1}{\alpha}\right)\left(\overline{\alpha}+\frac{1}{\alpha}\right)=\alpha\overline{\alpha}+\alpha\cdot\frac{1}{\alpha}+\frac{1}{\alpha}\cdot\overline{\alpha}+\frac{1}{\alpha\alpha}=\alpha^2+\frac{1}{|\alpha|^2}+2$

よって $|\alpha|^2+\frac{1}{|\alpha|^2}+2=4$ すなわち $|\alpha|^2+\frac{1}{|\alpha|^2}=2$

$|\alpha|^2=t$ とおくと $t+\frac{1}{t}=2$ 両辺に t を掛けて $t^2+1=2t$

よって $t^2-2t+1=0$ すなわち $(t-1)^2=0$ ゆえに $t=1$

すなわち $|\alpha|^2=1$ よって $|\alpha|=1$

10 α, z は複素数で、 $|\alpha|>1$ であるとする。このとき、 $|z-\alpha|$ と $|\overline{\alpha}z-1|$ の大小を比較せよ。

解答 $|z|>1$ のとき $|z-\alpha|<|\overline{\alpha}z-1|$ 、 $|z|=1$ のとき $|z-\alpha|=|\overline{\alpha}z-1|$ 、 $|z|<1$ のとき $|z-\alpha|>|\overline{\alpha}z-1|$

解説

$$\begin{aligned} |z-\alpha|^2-|\overline{\alpha}z-1|^2 &= (z-\alpha)(\overline{z-\alpha})-(\overline{\alpha}z-1)(\overline{\overline{\alpha}z-1}) \\ &= (z-\alpha)(\overline{z}-\overline{\alpha})-(\overline{\alpha}z-1)(\alpha\overline{z}-1) \\ &= |z|^2-z\overline{\alpha}-\alpha\overline{z}+|\alpha|^2-(|\alpha|^2|z|^2-\overline{\alpha}z-\alpha\overline{z}+1) \\ &= |z|^2+|\alpha|^2-|\alpha|^2|z|^2-1=|z|^2(1-|\alpha|^2)-(1-|\alpha|^2) \\ &= (1-|\alpha|^2)(|z|^2-1) \end{aligned}$$

$|\alpha|>1$ であるから $|\alpha|^2>1$ ゆえに $1-|\alpha|^2<0$

よって、 $|z|>1$ のとき $|z-\alpha|^2-|\overline{\alpha}z-1|^2<0$ すなわち $|z-\alpha|<|\overline{\alpha}z-1|$

$|z|=1$ のとき $|z-\alpha|^2-|\overline{\alpha}z-1|^2=0$ すなわち $|z-\alpha|=|\overline{\alpha}z-1|$

$|z|<1$ のとき $|z-\alpha|^2-|\overline{\alpha}z-1|^2>0$ すなわち $|z-\alpha|>|\overline{\alpha}z-1|$

11 α を複素数とする。等式 $\alpha(|z|^2+2)+i(2|\alpha|^2+1)\overline{z}=0$ を満たす複素数 z をすべて求めよ。

解答 $\alpha=0$ のとき $z=0$; $\alpha\neq 0$ のとき $z=-2\overline{\alpha}i, -\frac{1}{\alpha}i$

解説

$2|\alpha|^2+1>0$ であるから、等式より $\overline{z}=-\frac{\alpha(|z|^2+2)}{i(2|\alpha|^2+1)}=\frac{|z|^2+2}{2|\alpha|^2+1}\alpha i$

ゆえに $z=-\frac{|z|^2+2}{2|\alpha|^2+1}\overline{\alpha}i$ …… ①

$-\frac{|z|^2+2}{2|\alpha|^2+1}$ は負の実数であるから、 $-\frac{|z|^2+2}{2|\alpha|^2+1}=k$ とおくと $z=k\overline{\alpha}i$ …… ②

よって $|z|^2=z\overline{z}=k\overline{\alpha}i\cdot(-k\alpha i)=|\alpha|^2k^2$ …… ③

②, ③ を①に代入して $k\overline{\alpha}i=-\frac{|\alpha|^2k^2+2}{2|\alpha|^2+1}\overline{\alpha}i$

ゆえに $(2|\alpha|^2+1)k\overline{\alpha}=-(|\alpha|^2k^2+2)\overline{\alpha}$

すなわち $\{|\alpha|^2k^2+(2|\alpha|^2+1)k+2\}\overline{\alpha}=0$

よって $\alpha=0$ または $|\alpha|^2k^2+(2|\alpha|^2+1)k+2=0$

[1] $\alpha=0$ のとき、① から $z=0$

[2] $\alpha\neq 0$ のとき、 $|\alpha|^2k^2+(2|\alpha|^2+1)k+2=0$ の左辺を変形すると
 $(k+2)(|\alpha|^2k+1)=0$

ゆえに $k=-2, -\frac{1}{|\alpha|^2}$ ($k<0$ を満たす。)

② から $k=-2$ のとき $z=-2\overline{\alpha}i$

$k=-\frac{1}{|\alpha|^2}$ のとき $z=-\frac{\overline{\alpha}}{|\alpha|^2}i=-\frac{1}{\alpha}i$

[1], [2] から、求める z は $\alpha=0$ のとき $z=0$ 、 $\alpha\neq 0$ のとき $z=-2\overline{\alpha}i, -\frac{1}{\alpha}i$